

**第1回 市民館跡地利活用構想及び
文化小ホール基本構想・基本計画に関する
有識者検討会議 会議録**

日 時:令和6年3月25日(月)14時00分から

場 所:周南市役所 本庁舎4階 庁議室

【会 議 次 第】

1 開 会

2 市長あいさつ

3 委員の自己紹介

4 会長及び副会長の選出

5 議 事

(1) 市民館跡地利活用に向けた経過

(2) スケジュール

(3) 文化芸術や劇場ホールの状況

(4) 市民・団体からの意見聴取の結果(速報)

(5) 市民ニーズから見える文化小ホールの考え方

6 その他

7 閉会

≪ 配付資料 ≫

- ・ 市民館跡地利活用検討会議委員名簿
- ・ 市民館跡地利活用構想及び文化小ホール基本構想・基本計画に関する有識者検討会議設置要綱
- ・ 第1回市民館跡地利活用構想及び文化小ホール基本構想・基本計画に関する有識者検討会議

第1回 市民館跡地利活用構想及び文化小ホール基本構想・基本計画に関する 有識者検討会議 会議録

日 時 令和6年3月25日（月）14時00分から
場 所 周南市役所 本庁舎4階 庁議室
出席者 ・委員11名
榊原 弘之、河野 拓也、竹下 徹、児玉 真、岸 恭子、原田 宗隆、
西崎 博史、稲垣 円、桐生 智晃、西村 康成、藤井 崇史
・周南市長 藤井 律子、
・事務局5名
企画部長 川口 洋司、企画部次長 行富 広康、
企画担当係長 中村 成孝、主査 丁田 純、主任 近松 昌哉
・株式会社シアターワークショップ 代表取締役 伊東 正示、古川 茉弥
資 料 ・会議次第のとおり

会議録

1 開会

◇事務局 ただ今から、第1回市民館跡地利活用構想及び文化小ホール基本構想・基本計画に関する有識者検討会議を開催いたします。本日は、お忙しい中ご出席をいただき、誠にありがとうございます。私は、本日の進行を務めさせていただきます、周南市企画課の中村と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

会議に先立ちまして、周南市長藤井律子のご挨拶を申し上げます。

2 市長あいさつ

◇事務局 （市長あいさつ）

3 委員の紹介

◇事務局 続きまして、委員の自己紹介に移ります。時間の関係もございましたのでまず竹下委員より、時計回りにお一人ずつ簡単に自己紹介をお願いできればと思います。

（委員 自己紹介）

本来は12名の方がご出席される予定なのですが、本日は12名中11名の委員の皆様にご出席いただいております。本日は公益財団法人周南市文化振興財団の松本委員が欠席されております。

◇事務局 続きまして事務局の紹介をいたします。

（事務局 自己紹介）

4 会長及び副会長の選出

◇事務局 それでは次に、会長および副会長の選出を行います。会長および副会長につきましては、本有識者検討会議の設置要綱第5条で、「検討会議に議会長及び副会長各1名を置き、委員の互選により定める。」とされております。皆様の互選により会長・副会長を選出したいと存じます。どなたかご意見はございませんでしょうか。

●委員 過半数の方が今日初めて顔を合わす状況であり、委員の名簿を見ていますと、各方面でご活躍の方のお名前が挙がっており、選出と言っても難しいと思われます。事務局案があれば一任したいと思ひますが、いかがでしょうか。

◇事務局 それでは事務局から、会長および副会長の方を提案させていただきたいと思ひます。会長は山口大学大学院の榊原弘之委員、副会長は徳山工業高等専門学校の河野拓也委員にお願いしたいと存じますがご承認いただける方は拍手をお願いします。

●委員 (拍手承認)

◇事務局 ありがとうございます。皆様の承認により会長に榊原委員、副会長に河野委員が選出されました。それでは会長、副会長は席の移動をお願いします。
(会長・副会長挨拶)

◇事務局 ありがとうございます。大変恐縮ですが、市長は次の公務がございますので退席させていただきます。それではこれより議事に入ります。これ以降の進行につきましては、設置要綱第6条の規定により、会長が議長を務めることとなっております。どうぞよろしくをお願いします。

5 議事:(1)市民館跡地利活用に向けた経過

◎会長 それでは規定により議長を務めさせていただきます。議事進行についてご協力をよろしくお願いいたします。本日の議題は、次第にあるように5件となっております。まず議事1・市民館跡地利活用に向けた経過について、事務局からご説明をお願いします。

◇事務局 (資料を基に説明)

◎会長 ありがとうございます。市民館跡地の活用に関するこれまでの経緯について、事務局からご説明をいただきました。こちらについて何かご質問等ございますか。

●委員 (質問なし)

◎会長 では、こちらについてはひとまず以上とさせていただきます。次の議事に進みたいと思ひます。議事2・スケジュールにつきまして、事務局からご説明をお願いします。

5 議事:(2)スケジュール

◇事務局 (資料を基に説明)

◎会長 スケジュールについてご説明をいただきました。概ね約半年の中で案を作成し、5回という比較的高い頻度でこの会議を開催する、というお話でありました。こちらにつきまして何かご質問等ありますでしょうか。

●委員 (質問なし)

◎会長 ではこちらもご納得いただいたという事で、議事3・文化芸術や劇場ホールの状況につきまして事務局よりご説明をお願いします。

5 議事:(3)文化芸術や劇場ホールの状況

◇事務局 (資料を基に説明)

◎会長 ありがとうございます。前半は劇場ホールに関するここ数十年の動静、色々な設計思想の変化をご説明いただき、後半は周南市内の現在あるホールの利用実態をご説明いただきました。こちらについて何かご質問はありますか。

●委員 市内の各施設について、周南市は少しいびつな格好をしており、周南市の人たちが下松市や光市へ行く傾向があるとどこかで読んだ記憶があります。例えば下松市の市民会館の来場者を調べているのでしょうか。特に下松市は近いため、広域都市圏の中の状況や観客の動向について知りたいです。

◇事務局 下松市について、スターピアくだまつ大ホールは客席が1,000席程度あり、隣接する展示ホールは特に客席があるわけではないものの、椅子を並べれば300人ほど入るなど、比較的使いやすい施設があります。防府市にもアスピラートという施設があり、客席は600席程度になります。どちらかというところ、地理的に下松市の方が近いため、そちらをお使いになるケースが多いと聞いております。各施設の稼働率までは分からないものの、団体ヒアリング等をする中で、周南市文化会館は広くて客席数も多いため客席を埋めるのは難しいというご意見をいただいています。スターピアくだまつの展示ホールは使いやすい規模であり、ピアノの発表会やお遊戯会などで利用されるケースもあるそうです。また、1,000席あるスターピアくだまつ大ホールも文化会館よりは小さいので、そちらの方を利用されるケースも多く、隣接商業施設を待合時間などで利用される団体も多いようです。

◎会長 ありがとうございます。ご指摘のように他市、特に都市圏で見ると下松市は近いため、そのあたりとの役割分担なども少し意識しながらこちらの機能についての議論が必要なのかなと思いました。ありがとうございます。その他どうぞ。

●委員 今後基本構想の説明があるかもしれないですが、結局のところ、パフォーミングアーツセンターが主になるのか、パブリックシアターが主になるのか

か、芸術家と市民のコラボレーションが主になるのかをお伺いしたいです。第一に国の機関を集約したうえで、さらに文化芸術活動の場を作るという話に捉えられます。我々として一番ほしいのはアートファクトリーの部分かな、と思いながら話を聞いていましたが、これを実現するには広大な土地が必要であることが気になります。また、全ての機能を複合することは実際可能なのか、という疑問もあります。中学校の部活動地域移行に伴い、生徒は学校という活動の場が失われて、今後の活動の場がどうなるか、というのが一番心配なところでしょう。おそらく、アートファクトリーの部分まで考えてしまうと、この敷地内で収まるのか疑問です。

◎会長 先ほど最近の動向に触れた中では、少しずつ違うベクトルの話もあったと思います。その中のどのあたりに力点を置いていくか、その検討について、この場でどのくらい今後議論すべきか、あるいはある程度市として考えを持っているのか、そのあたりについて事務局の考えはありますか。

◇事務局 敷地面積としては7,200㎡になります。この中に集約化した国の機関、そして文化小ホールと立体駐車場と、大きくはこの3つができていくというイメージをお持ちいただければと思います。文化小ホールにつきましては、先ほども触れました保健センターの子育て機能も拡充したい、という考えがあり、現保健センターにある貸館業務もやっていかなければならないと考えております。あわせてアートファクトリーという話もあったかと思いますが、そうした諸室整備も同時にしていかなければならないと考えています。したがって、何もかも詰め込むというのは、やはり物理的に難しいという点は当然あり、可能な限りご意見をいただきながらも、諸室整備についてはある程度集約化しつついきたいと考えています。ここに力点を置いてしっかりと整備していくべきではないか、という点についてもこの場でご意見をいただきたく、現時点においては、文化小ホールと保健センター棟を建てていく中で、アートファクトリー的な部分をどこまで実現できるか、ということについて検討していきたいです。

◎会長 おそらくこの後説明予定の市民アンケート等市民意見も踏まえながら、どこに力点を置けば周南市のまちづくりに寄与できるか、という点をこの場でお話していくことになると思います。ありがとうございました。その他ございますか。

●委員 周南市文化会館で39年勤めた経験から申します。周南市文化会館は、文化芸術を前面に出したホールとして県内で初めて建てられ、コロナ禍前は50%を超える県内一利用率の高い劇場でした。昭和57年に周南市文化会館ができた時点で、市民館は昭和31年から活発に利用されており、それを取り壊すような声もあったものの、この周南地域、当時徳山市での活動が非常に活発で

あったため、文化会館建設後も市民館は依然残しておりました。当時 1,200 席あり、その後改修して 1,060 席になりましたが、当時、1,000 席以上のホールを 2 つも持っているのは周南市のみでした。山口市は市民会館、下関市は下関市民会館の 1 つのみです。市民館があった頃は 1,000 席以上のホールを 2 つ持っており、なおかつ周南市文化会館の利用率は 50% 以上、市民館の稼働率も 30~40% と、全国平均の大ホールの利用率 30~40% を維持できているこのまちの実態がある一方で、市民館閉館後、市民館で活動していたひとが行き場を失い、現在は学び・交流プラザや新南陽ふれあいセンター、山口県総合庁舎にある講演会やセミナー向きのさくらホール、サンウイング熊毛、市外のスターピアくだまつ、光市民ホール等を活用しながら活動している、という実態があります。このまちの地域活動拠点を求めている声とは、以前要望書にあった 1 万 4000 人の声でしょう。そういったことを踏まえ、周南市文化会館大ホールは非常に音響効果が優れたホールとしての役割を果たし、新しい小ホールは地域拠点としての役割を果たす、これが多くの方々から新しい小ホールに期待している点だと思います。そこにどのような機能を持たせていくか、この点はまちづくりに大きく影響し、まちの賑わい創出に寄与していくことになろうかと思えます。そういうことを踏まえて、これから皆さんと議論していきたいと存じます。

◎会長 これまでの歴史的な経緯なども含めてご紹介いただきました。非常に文化活動が盛んですが、その中でやはり今は活動場所がないというような声もあるようです。また、先ほどのご意見にもあったように、部活動の地域移行等、新たなニーズもある中で、どのような機能が特に求められるか、今後議論していければと思えます。

ただいま、ニーズといったところにもお話がおよびつつあるため、4 つ目の議題に移りたいと思えます。議題 4・市民・市民団体からの意見聴取の結果についてご説明をお願いします。

5 議事:(4)市民・団体からの意見聴取の結果(速報)

◇事務局 (資料を基に説明)

◎会長 アンケート、ワークショップ、それから関係団体へのヒアリング結果について、おそらく次の議題でこのあたりを踏まえた現時点での考え方が示されると思えます。まずこちらのアンケート等について何かご質問等あればお願いします。

◎会長 ワークショップと有識者検討会議について、おそらく並行しながら開催していくことになろうかと思えます。ワークショップで議論をしていきつつ、この場でも議論するとスケジュール的に重なります。並行して行う際の役割分担や相互作用についてどのように考えればよいのでしょうか。

◇事務局 市民ワークショップで色々なご意見をいただき、その実施結果をこちらの有識者検討会議で報告し、参考にさせていただきながら、有識者会議で議論していただくというサイクルを考えています。ワークショップは一般市民の感覚で率直な意見を集め、有識者検討会議では皆さんの知見に基づくご意見を頂戴する形になります。

◎会長 ありがとうございます。その他いかがでしょうか。

●委員 この調査は、新しいホールに望むこと、というような視点から色々なニーズを把握されているかと思います。周南市の既存ホール施設の課題等は市として把握しているのでしょうか。

また、市民館跡地の考え方について、構想にて、賑わい創出について言及していましたが、各世代が交り合っってホールに参画するにあたって各年代別の利用状況について把握されているのでしょうか。

◎会長 2点ご質問いただきましたが、どうでしょうか。

◇事務局 まず1点目の既存ホール施設における課題等について、市内各ホール施設を回り、利用状況も含め、要望や、管理する側での思いを伺いました。また、団体ヒアリング等で、各団体からの要望や現在満足している点など色々なご意見を承っております。今こちらにお持ちできないのが申し訳ないですが、事務局としては把握しております。

2点目の各世代の利用状況について、世代別の利用状況データは持ち合わせていません。

◎会長 ありがとうございます。周南市文化会館に関しては34ページの団体ジャンルのグラフの通り利用団体が分類されております。どなたが借りているか、という点で分類する形でしょうか。

◇事務局 仮に分類するということになればどのような団体がお借りになっているかは把握できますが、その中の年齢構成などについてはなかなか把握が難しいところです。比較的若い世代の団体だろう、等肌感覚でのお話はできるかもしれません。

◎会長 今後の議論もやや定性的になると思いますが、そういったお話もあるとよろしいかもしれません。その他いかがですか。

○副会長 45ページの団体ヒアリング結果のグラフについて、どのような大きさのホールを作るのか、という点が最も大事だと思います。1,000席を目指すのか、500席を目指すのか、という点について、先ほどの話にもあった、できることとできないこと、ということが客席規模にも当てはまるでしょう。いずれどこかで決定し、進めていかなければならない問題であり、1,000席にしたためにできないことが生じてしまうという事態もあるでしょう。進め方としては、ある程度あたりをつけてそれに対してアプローチをしていくのか、もし

くは1,000席の場合、500席の場合というように二刀流で進めていくのか、今後どのような形で座席数を決定していくのか方針を知りたいです。

◇事務局 客席数はメインの議題であろうかと思えます。決めていくに当たり、団体ヒアリング等ではおおよそ1,000席より少ないものを望む声が多くありました。1,000席というのが果たして敷地に入り切るのかという物理的な問題もあります。私どもとしては、団体ヒアリング等で、実際お使いいただく方のご意見もしっかりと参考にしていきながら、客席規模をお示ししたいと思っています。基本構想をまとめあげていく中で、市としてはこの程度の客席数にしたいというものを示し、有識者の皆様から見たこのまちにふさわしい客席数について、またご意見を賜りたいと考えています。次回なのか次々回なのか、正確なところは分かりませんが、ご意見等を踏まえたうえで、市としての考えをお示ししていきたいと存じます。

○副会長 おそらく文化芸術活動、吹奏楽などをやられている方は座席数のイメージをお持ちだと思いますが、一般市民にとっては、300席と500席で何が違うのか、という疑問もあるでしょう。そのあたりも考慮しつつ、今後選択をしていくうえで、我々の中でも同じベクトルや軸を作っておいた方がよいと思います。おそらくワークショップでも形が見えてくると参加者の想像力も膨らみ、やりたいことが明確になると思うので、規模感を示す事例の絵などがあればよいと思います。

◎会長 他にどうぞ。

●委員 座席数も大事だと思うが、まずどんなホールなのか、多目的ホールなのか、専門的なホールなのかという点が決まらないと座席数検討も難しいかと思えます。

◎会長 5番目の議題に話題が移りつつありますね。今のご意見もそこに関わると思えます。事務局でも今のご質問に関することはある程度お考えだと思います。議題5・市民ニーズから見える文化小ホールの考え方について事務局よりご説明いただいてから、改めてまたご意見いただければと思います。

5 議事:(5)市民ニーズから見える文化小ホールの考え方

◇事務局 (資料を基に説明)

◎会長 先ほどのアンケートやヒアリングを踏まえた現時点でのまとめだと思います。先ほど少し議論があったホール規模等について、おそらく事務局としては50ページの課題・ニーズ整理の表にあるように、100~500席といった、小さい規模のものを考えているのでしょうか。また多目的ホールより専門性のあるホールを志向されている印象を受けました。今後議論していく部分もありますが、3ページにわたって書かれている内容に関してご意見があればお伺

いしたいです。事務局もそれを踏まえて検討していただけるのではないのでしょうか。

- 委員 会長がおっしゃったように、新たな施設のニーズについて、規模は小さめですが、かなり専門性の高いことに対応できるようなものを求めている印象を受けました。一方、ワークショップで書かれているご意見のまとめを見ると、その部分との乖離があり、今後どのように意見集約するかが大事だと思いました。ワークショップ等に参加された方が最終的には自分たちの考えている場所になったと感じ、自分たちが使える場所で、自分たちの場所だな、と思うところに着地しなければ成功とは言えないと思います。やはり、このプロジェクトに関わる方々の意見を集約する際に、どうすれば同じ方向を向いていけるのか、もう少し密にやった方がよいと思います。個人的に4月に開催するワークショップをぜひ傍聴したい、と思いました。また、我々自身もそういうことを知るべきではないか、と考えました。

- ◎会長 ありがとうございます。今の指摘については私も少し気になりました。ワークショップで、広く一般的なまちづくりという視点で皆さんがご意見を出している感じがして、それはそれで結構だと思うものの、ワークショップと団体ヒアリングとの間で少しベクトルの違うご意見を頂戴している気がしています。参加した方はせっかく時間を使って参加しているため、まちづくりに参画できた、という意識は大事だと思います。難しいことではありますが、今後の運営の中でも少し考えていただきたいです。

- ◎会長 その他何かございますか。例えばこちらの方向性について書かれているところについて、例えば市民からプロまで、というところや、練習から発表まで、というところ等、実際にお使いになる立場から見て、こういった視点が欠けているのではないか、という意見があればお願いします。

- 委員 専門性というのは、おそらくグレードの高さだと思います。プロが使用できるものは、アマチュアが使ってもとても気持ちがいいものであるため、やはりそこは譲れないと思います。実際このまちにも周南市文化会館という音響性能の優れた、今建てようとする100億円を超えると言われるほどの全国有数のホールがあり、その周南市文化会館のように作ってほしいという意見もあります。つまり、客席数はしっかりあり、快適な空間、そして舞台機構、舞台袖はゆとりがあって、音楽、舞踊、演劇、あるいはセミナー・講演会にも対応できる、多目的ながらグレードの高い、全てに対応できる非常に利用率の高いホールのことです。県内に300～500席のホールはたくさんあるものの、本格的なホール・劇場はないです。私は県のあちこちで、出演者として舞台に立ったり、鑑賞者として劇場で鑑賞したりしてみてもそのように思います。300～500席のホールは多いものの、舞台機構がしっかりしていない

等不満がありつつ仕方なく使っている、というのが実態です。東京には銀座王子ホールのような専門性の高い小ホールがありますが、地方にあるほとんど小ホールは本格的な劇場機能を持ち得ていません。徳山駅前に素晴らしいホールができ、地域の拠点になると同時に、県外からもソリストや、アンサンブルコンサート等、一流の舞台も同時に展開でき、より機能的そして親しまれるようになることを望みます。なおかつ、今後は子どもの世代をどう取り込むか、という部分が非常に重要で、少子高齢化が進んでいるなか、先を見通したときに今は心もとないです。それは中学校の部活動の地域移行とも密接に絡んでおり、避けて通れない問題です。実際このまちには練習や稽古する場が圧倒的に足りません。今皆さんが困っているのは、小ホールとは別に、そういった稽古や練習場所の不足、会議の場の不足です。これも同時に解決できれば、地域拠点として、フルに使って賑わい創出に大いに寄与するのではないかと、という希望を持っています。そして皆さんで議論していただきたいと思っています。

◎会長 ありがとうございます。事務局の方で今後検討していく中でも、かなり具体的なイメージを伴ったご意見をいただけたと思うので、ぜひそのあたりを考慮していただきたいと思います。今お話を伺っていると、もちろん周南市民に親しまれるという事も重要だが、近隣都市の方も使ってもらえる、求心力が生まれるような施設になっていくとよいと考えました。

6 閉会

◎会長 本日は初回ながら、様々ご意見をいただきましてありがとうございます。それぞれの立場からのご意見やご質問をいただくことができました。今後、ワークショップも並行して行われ、こちらあと4回開催予定です。そういった中で、さらにご意見をいただいて内容を深めていければ、と思います。以上で全ての議事が終了となります。最後に、事務局から連絡事項等をお願いいたします。

◇事務局 皆様、お疲れさまでした。本日の会議の内容につきましては、議事録を作成し、皆様にご確認いただいた上で、市のホームページに掲載させていただきます。次回の開催日時、場所については、調整の上、後日お知らせいたします。

なお、本会議の公開の取扱いですが、今後も基本的に公開で行いたいと考えておりますが、よろしいでしょうか。

(意見なし)

◇事務局 それでは、原則公開で進めてまいります。今後テーマ次第では、より活発な議論をしていただくため、公開か非公開かを、必要に応じて、委員の皆様のご意見をお聞きしながら、決めてまいりたいと考えております。

◎会長 以上で、次第に基づくすべての日程を終了いたしました。この会議は、これから10月までをめぐりに開催することとなりますが、周南市の都心軸にふさわしい市民館跡地の利活用について、皆様としっかり議論してまいりたいと思いますので、ご協力をよろしくお願いします。本日は、長時間にわたり、大変お疲れ様でした。それでは、進行を事務局にお返しいたします。

◇事務局 本日はありがとうございました。以上をもちまして、「第1回 市民館跡地利活用構想及び文化小ホール基本構想・基本計画に関する有識者検討会議」を終了いたします。皆さま、お疲れさまでした。